

# ゆめみにゅーす



# YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 62  
発行日 令和3年11月1日  
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園  
問い合わせ 044-588-4030  
飼育展示数 哺乳類:24種155点  
鳥類:24種78点  
爬虫類:10種98点  
(令和3年10月末日現在)

## 元気です

人間社会の方はまだまだ色々大変ですが、動物たちは元気です。



## 年賀状コンクールのお知らせ

動物公園の動物たちへの年賀状を募集します。いただいた年賀状は事務所に掲示し、職員投票で選出した優秀賞の方には賞品が贈られます。

★募集期間：令和4年1月1日（土）～1月7日（金）**必着**

★展示期間：令和4年1月22日（土）～1月30日（日）

★あて先：〒212-0055 川崎市幸区南加瀬1-2-1  
夢見ヶ崎動物公園 年賀状コンクールあて

★注意：はがきの表面にあて先と差出人住所・氏名を記載してください（裏面を掲示するので、裏には個人情報に記載しないでください）。詳しくはホームページ等に記載する予定です。



\*公式フェイスブックはじめました。詳しくはこちらから。



## ★ピックアップ動物★

### アメリカアカリス 哺乳綱 齧歯目 リス科

北米大陸の針葉樹林などに生息し、木の実やキノコ、果物などを食べます。

秋から冬にかけて発情期を迎えるオスの睾丸は初めて見る人ならびっくりするくらい大きくなり、気性も荒くなります。ここでメスとの交尾が成立、妊娠すると春から初夏にかけてメスは出産期を迎えます。自然界では木のうろなど、動物園では巣箱の中で出産するので、こどもはある程度大きくなるまでお目見えしません。今年生まれた2頭のこどもも、発見は7月でしたが、生まれておそらく1か月以上は経っていた状態でした。最近リスの食欲が増している、メスの乳首が張っている…これは赤ちゃんが生まれているのではないかと感じていたところだったので、発見した時は「ああやっぱり」の安堵感もあり、喜びもひとしおでした。

動きがせわしくなく、ゆっくり観察するのも難しいですが、後肢の関節が柔らかく、爪先を180°回転した状態で垂直な木を逆さまに降りるので、初めて見たらびっくりするかもしれません。



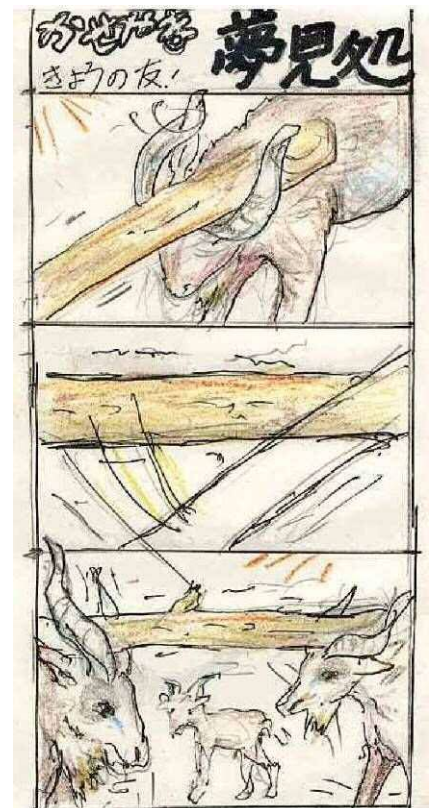
## 獣医の日記

動物園の動物病院には治療で一時的に来る動物だけでなく、入院している動物もいます。長期にわたって入院している個体は展示でお客さんの目に触れる機会はなくなりますが、職員にとってはむしろなじみ深い顔であり、存在感も大きくなっていきます。

先日、10年以上入院していた25歳のメスのフンボルトペンギンが死亡しました。もともと足の裏に趾瘤というこぶのようなものができ、悪化して骨が溶けてしまったことから足の指を切断する手術を行い、また、嘴の変形により他のペンギンのように泳ぎながら餌を取ることができなかつたため、展示で暮らしていくことが難しい個体でした。

1羽だと元気がなくなってしまう、つがいのオスが付き添い入院していた時期もありました。餌は魚を手渡しで与えるのですが、時々職員を選ぶことがあり、普段よく世話をしているかどうか、治療などで嫌なことをされているかなど全く関係なく、この人からは食べる、あの人からは一切食べない…という基準が謎のこだわりを見せることもありました。そして、嘴の変形のため食べるのがとても下手なので、魚の大きさ、くわえさせる角度、タイミングなど、かかわった職員を散々悩ませ、工夫させてくれたのはよい思い出です。

動物園の役割は、お客さんから見えない部分の方に多く詰まっていると感ずることが多々あります。動物の健康管理もそのひとつです。正解がわからないことも多い中、経験や過去の例を生かしつつ、やはり同じ個体はいないので悩みながらの試行錯誤を続けています。



### ★動物たちの主な移動(令和3年8月1日~令和3年10月31日)★

ホンシュウジカ(♀1♂1 繁殖、♂1 死亡)、ペニコングウインコ(♂1 死亡)、ニホンキジ(♂1 死亡)、ハイロコクジャク(♀1 搬出→千葉市動物公園、♂1 搬出→智光山公園)、ケープハイラックス(♂1 死亡)、フンボルトペンギン(♀1 死亡)、テンジクネズミ(♂1 死亡)